

1. 総合計画策定の背景

(1)人口減少・少子高齢社会

わが国の人口は、総務省の令和2年国勢調査人口推計によると、1億 ~~2614万6099~~~~2,616万7千人~~人(令和2元(202019)年10月1日現在)であり、平成20(2008)年以降減少を続け、人口減少が今後も続く予想されています。

また、人口構造も大きく変わり、15歳未満(年少人口)の割合は ~~11.9~~~~12.1~~%、15歳から64歳(生産年齢人口)までの割合は59.5%、65歳以上(老年人口)の割合は ~~28.6~~~~28.4~~%となり、少子高齢社会が続いています。

国立社会保障・人口問題研究所(以下、「社人研」という)の将来推計(平成29(2017)年4月公表)では、20年後の令和23(2041)年には、総人口が令和3(2021)年より約1,500万人減少し、高齢化率は35.7%にまで達すると予想されます。一方、生産年齢人口は大幅に減少することから、社会経済への影響が懸念されています。

今後、地方においては特にその影響を大きく受け、地域コミュニティの存続が危ぶまれます。なかでも、独居高齢者世帯の増加などにより、地域課題が大幅に増え、地域経済にも影響が及ぶことが懸念されていることから、人口減少対策、少子高齢社会に対応するまちづくりが必要とされています。

(2)気候変動と自然災害の激甚化

令和元(2019)年10月の東日本台風災害では、市内の降水量は10月12日～13日に195.0mm、最大風速は35m/sを超え、千曲川の水位は杭瀬下観測所では統計開始以来最大値の6.40mを記録し、さらに千曲川霞提部分からの水の流入により、市内全域で約220haの浸水被害を生じました。

また、住家被害は972件、商工業事業者は209事業者が被害を受け、農林業・観光業、公共施設・インフラなども多大な被害を受けました。

市は、令和2(2020)年2月に「千曲市気候非常事態宣言」を行うとともに、「千曲市復旧計画」の策定、令和3(2021)年3月には「千曲市復興計画」を策定し、市民の安全・安心を守るため、災害に強いまちづくりを目指して取り組みを進めています。

こうした大規模な災害は、日本や世界においても毎年多発していることから、地球環境に対する意識が高まり、パリ協定・SDGsをはじめ世界各国で地球温暖化による気候変動対策の取り組みが進められています。長野県は令和元年(2019)年12月に「2050ゼロカーボンへの決意」を表明し、国は令和2(2020)年10月に「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言し、温暖化対策に向け取り組むこととしています。

第三次千曲市総合計画は、「千曲市復興計画」を継承し、改めて「災害に強く、安全で安心な暮らしができるまち」を基本目標に掲げています。

(3)新型コロナウイルス感染症による社会変化

令和2(2020)年から新型コロナウイルス感染症が世界中に拡がり、経済活動や市民生活に多大な影響を及ぼしました。日本においても経済活動の落ち込みが続いてきましたが、令和3(2021)年には感染拡大防止、ワクチン接種が進み、経済は回復の兆しが見えてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは不透明な状況にあり、感染症対策と社会経

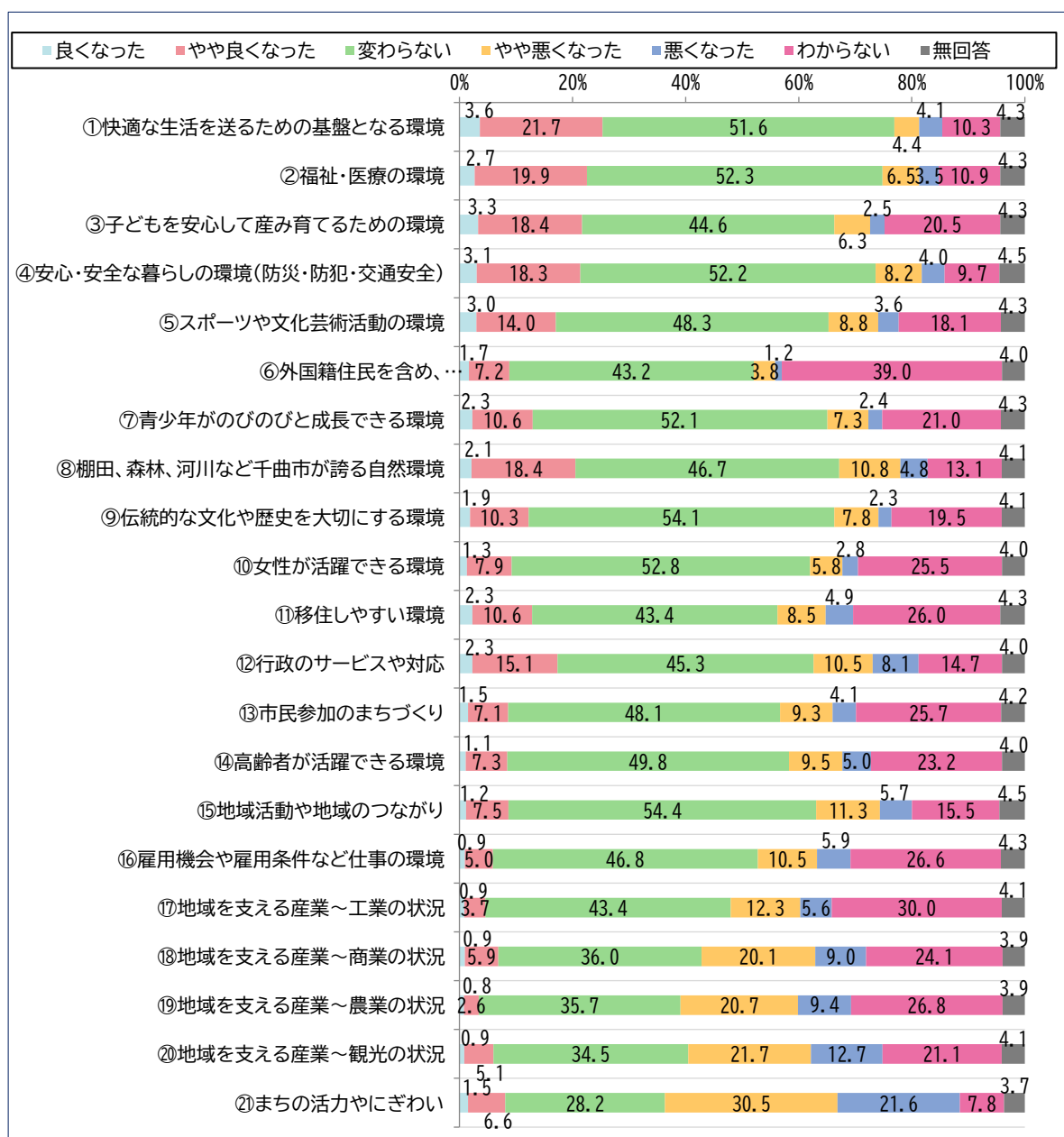
③千曲市の環境の変化について

第二次千曲市総合計画 前期基本計画の計画期間中(平成 29(2017)年度～令和 2(2020)年度)、『千曲市の暮らしの環境やまちの状況や産業の状況など 21 項目について、どう変化したと感じていますか。』について、「良くなった」「やや良くなった」「変わらない」「やや悪くなった」「悪くなった」「わからない」の 6 段階のうち、該当する 1 つについて回答を得ました。なお、順位の算出方法は、「良くなった」に 10 点、「やや良くなった」に 5 点、「やや悪くなった」に-5 点、「悪くなった」に-10 点を乗算し、平均点を算出し順位としています。

調査結果では、「①生活の基盤整備」や「②福祉・医療」、「③子育て環境」について、良くなったと感じる人の割合が高く、新型コロナウイルス感染症の影響等から、「⑯雇用」や「⑰～⑳産業」、「㉑まちのにぎわい」等の経済活動における分野は悪くなったと感じる人の割合が高くなりました。

また、人口減少・人口構造、社会情勢の変化により高齢化社会が進み、「⑭高齢者が活躍できる環境」、「⑮地域活動や地域のつながり」が悪くなったと感じる人の割合も高くなっています。

【令和 2 年度までの 5 年間における千曲市の環境の変化について】



(2)目標人口

目標年次:令和 8(2026)年の目標人口を 56,5300 人以上とします。

本市の人口は、平成 12 年(2000 年)の旧市・町の合計人口 64,549 人をピークに減少を続けており、社人研の推計をみると、令和 8(2026)年には、約 55,100 人になると推計されています。

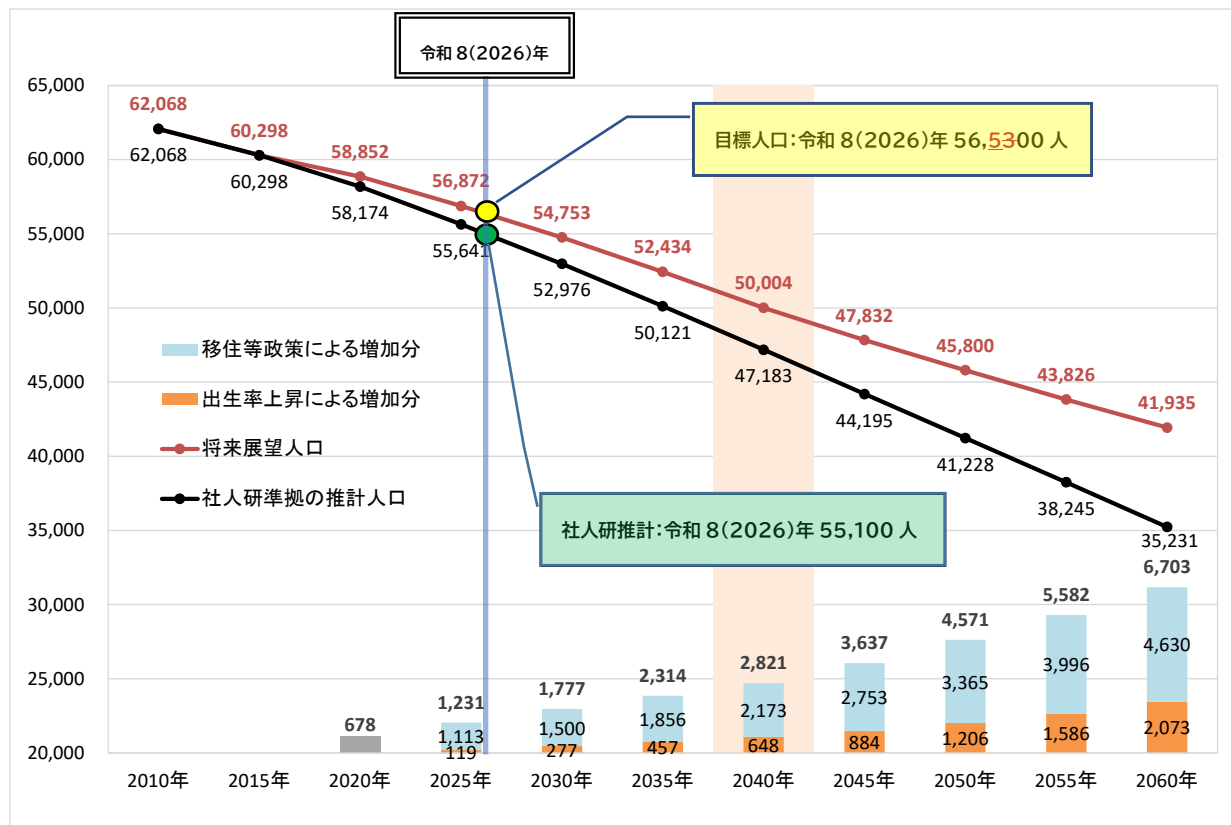
この間、少子高齢化の進展や若い世代の転出超過による生産年齢人口が減少していることが予測され、こうした人口減少は地域経済の縮小を招き、市民の経済力の低下につながる懸念されます。

また、農地・山林等の周辺環境、土地利用の構造、社会インフラ、社会保障制度など、地域社会のさまざまな基盤の維持に大きな影響を与えるものと見込まれます。

したがって、今後のまちづくりの方向は、人口減少を最小限に抑え、懸念される人口減少と地域活力縮小の克服に努め、安心して暮らせるまち、活力を持続できるまちづくりを進めていく必要があることから、「第 2 期千曲市人口ビジョン」を策定し、目標人口を定めました。

(参考)第 2 期千曲市人口ビジョン

目標年次 令和 22(2040)年の目標人口 50,000 人



⑤ 成果指標

指標名	基準値 (年次・年度)	目標値 (年次・年度)	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等
合計特殊出生率	1.401 1.48(推定値) (令和2年)	1.52 (令和8年)	安心した出産・子育てに向けた各分野における取組の包括的評価を表す	保健活動統計など
市民意識調査における設問「子育て」の満足度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」の割合	46.7% (令和3年度)	51.0% (令和8年度)	「子育て」の市民意識の醸成、取組状況の進捗を表す	市民意識調査結果
子どもの居場所づくり支援事業実施団体数	4団体 (令和2年度末時点)	9団体 (令和8年度末時点)	子育て支援に対する環境整備の状況を表す	実績値による
ファミリーサポート事業提供会員数(両方会員含む)	151人 (令和2年度末時点)	180人 (令和8年度末時点)	地域における相互支援の取組状況を表す	登録者数による
ファミリーサポート事業実行率	新規事業	90% (令和8年)	地域における相互支援の取組状況を表す	実績値による
子育て相談件数(子育て支援センター)	380件 (令和2年)	430件 (令和8年)	子育て支援に対する状況を表す	実績値による
子育て支援センター年間利用者数	36,074人 (平成30年)	37,000人 (令和8年)	子育て支援に対する環境整備の状況を表す	実績値による
子育て支援センター利用者満足度	新規事業	満足割合 90% (令和8年)	子育て支援に対する環境整備の状況を表す	利用者アンケート
保育園の耐震化率	54% (令和2年度末時点)	100% (令和8年度末時点)	安全・安心な子育て環境の状況を表す	竣工状況
延長保育、一時預かり、日曜保育の利用者数の計	879人 (令和2年)	1,000人 (令和8年)	仕事と家庭の両立支援の環境整備の取組状況を表す	実績値による